



# つねとみ

第18号

※「つねとみ」カラー版は恒富小ホームページでご覧いただけます。

文責：校長 橋本範憲

## あおむしを見て考えたこと・・・

秋頃の話です。学校の正門横を掃除していると横の花壇から道路の方へ大きなあおむしがのそのそと移動していました。

「あらら、このまま道路へ進んでいったら車にひかれてしまう。かわいそうに！」私はそう思って、近くにあった木の枝を持って、そのあおむしを花壇へ返してやろうとしました。



しかし、そのあおむしは何を思ったか、スピードを上げて私から逃げて、ますます道路の方へ行こうとしています。

「じゃまするな！俺は俺の選んだ道を行くんだ！」何かあおむしは、意地になって道路へ行こうとしているように見えました。

でも、このまま行かせたら間違いなく車にひかれるか、ひかれなくても鳥に見つかって食べられてしまうでしょう。私は今度は力を入れてしっかりとこのあおむしを花壇の中へ返してやりました。「よかったね、あおむし君。これで君は安全だよ。」そう思いながら、きっとあおむしも喜んでいだろうと思って見てみると、何とあおむしは丸くなってかたまってしまいました。木の枝でつつんしても全く動きません。何だか、自分のやりたいことを私にじゃまされて反抗しているように見えました。

しかし、私としてはこのあおむしをあのまま見過ごすことはできませんでした。きっとこのあおむしも成長してチョウチョになったとき思うでしょう。

「ああ、あのとき恒富小の校長先生が私の行き先をじゃましたのは、私が憎かったからではなく、私のためにやってくれたことなんだ。」と・・・

え～、長々と私の体験談を読んでくださってありがとうございました。でも、このあおむしの話、何かに似ていると思いませんか？

そうです！実は思春期の子供達によくある風景です。親や教師は大人ですから、様々な経験を積んできているので、子供達が間違っただけをしようとしたら注意します。しかし、思春期の子供達にとってはそれが気に入らないわけですよ。「自分のやりたいようにやって何がいけないんだ。大人はそうやっていつも子供のじゃまをする。」まあ、こんな感じでしょうか。かと言って、親として子供がだめになるとわかっていて、黙ってわざわざ見過ごすことはできませんよね。当然注意します。いや、注意しなければいけません。たとえ子供が嫌がっても、それをそのままにしていたら、将来子供が苦労するのは目に見えていますからね。

結局、何が言いたいかと言いますと、親は子供の成長に伴い「見守ること」と「きちんとさせること」をしっかりと意識して育てなければならないということです。高学年にもなって親が手を出し過ぎたり、逆にさせるべきことをしっかりさせなかったりしたら、将来困るのは子供自身です。親として、責任もって子供達を育てましょう。子供と一緒に過ごせる期間はそんなに長くありませんよ。あおむしを見ながら、そんなことを考えた朝でした。

## おいしい給食、ありがとう！！

1月14日（木）に給食感謝集会がありました。これは、日頃おいしい給食を作っていただいている給食室の調理員さんや関係者の皆さんに感謝するというものです。内容は給食の歴史や調理の様子紹介、調理員さん方へのプレゼントなどでしたが、私が感心したのは5・6年の給食委員会の子供たちが集会の台本や全校生に出すクイズを全部自分たちで考え、当日の準備や進行も自分たちで行ったことです。立派です。



【調理員さん方へプレゼント】



給食委員会みんな、よくやりました！！それにしても、うちの給食は本当においしいです。私たち職員も感謝です。最近の給食は工夫した献立も多く、結構初めて食べるものもあります。お家でもたまに給食のことを話題にするといいですね。お子さんの好きな給食は何かご存知ですか？

## 恒小あるある！？その⑭

今回は給食つながりでいきます。今、学校では給食掲示板が熱いです！食育関係担当の永田先生と中川先生が食育につながる資料を掲示板に定期的に掲示してくれています。春の七草の本物を飾ったり、実物大の魚の写真や箸の持ち方を掲示したり、野菜の実物（ヘチマカボチャ、ほうれん草、白ネギ等）を置いたり、本当にすごいです。子供たち【実物大の魚の写真】も次はどんな資料なのか、どんな野菜が置かれるのか興味津々で楽しみにしているようです。場所は中校舎入り口の掲示板と事務室前にありますので、保護者の皆様もぜひご覧ください。

